

【施設状況】

グループ名称	川中島町公民館、分館(川中島、中津、御厨)								
指定管理者名	川中島町住民自治協議会					法人番号	3700150073961		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3328	川中島町公民館							
	3326	川中島町公民館川中島分館							
	3325	川中島町公民館中津分館							
	3327	川中島町公民館御厨分館							
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制	
施設概要	【本館】多目的ホール(講堂) 1、和室 1、調理室(実習室) 1、会議室(大中小) 各 1、図書コーナー 1 【御厨分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1 【川中島分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1 【中津分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	川中島町住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成29年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
		利用者数	人	35,236	17,393	28,103	22,887	81%	3
		利用率	%	33.7	23.7	24.4	31.1	127%	
		分館(3館)利用者数	人	32,053	11,481	9,787	12,551	128%	
		分館(3館)利用率	%	19.8	9.4	9.1	11.1	122%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和4年度】利用者数について、特定のジャンルの団体利用が多く利用者間で不公平感が生じていたため予約・利用状況の調整を行ったことにより減少したが、利用率はコロナによる制限の緩和に伴い増加し、適正な利用となっている。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・川中島町公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・川中島町公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・川中島町公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・公民館報 3回/年 発行。ホームページでの情報提供により、公民館活動の広報をした。 ・講座の開催等は、地区にチラシの配布・回覧等をした。館内の掲示物を工夫して、視覚を通して訪問者に呼びかけを行い新規利用者の増加につなげた。							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。	
	(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座 15講座(15回) 講座参加者数 575人 うち アンケート回答者数 540人 満足 83% やや満足 16.6% やや不満 0.4% 不満 0%		
	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	昨年同様、川中島公民館のテーマである「水、桃、歴史」の観点からその具現のための講座(芭蕉の更科紀行・川中島音頭を創った人たち)を企画し好評を得た。地元講師の講座や、地域の芸術家の作品展をギャラリーで開催するなど、地域への愛着と関心を高める取り組みが好評だった。 講演やコンサートでは定員を減らし、座席の間隔を十分に空けて開催したことで参加者の安心感に繋がった。 施設について、新築7年目のため施設設備が整っていること、駐車場があり来館しやすいと好評であった。 電話対応、窓口対応等丁寧で分かりやすいとの声が今年も多かった。親切で温かい声かけが好評であった。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	・スポーツ大会の種目について、例年行われていたスポーツ(ソフト、野球、女子バレー)について以前より選手の確保が困難と問題になっていた。	
		《対応措置》	・3年かけてスポーツ推進委員と検討し、ソフトボールとボッチャに絞って運営することとした。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金	1,782,000	利用料金	2,222,050	使用料	81,680	使用料	
	指定管理料	20,000,000	指定管理料	20,000,000	雑(納付金)	64,160	雑(納付金)	30,910	
	委託料	0	委託料	0	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
	販売収入等	0	販売収入等	0	貸付料	45,900	貸付料	45,900	
	その他収入	23,000	その他収入	40,122	その他		その他		
	雑(売電)				雑(売電)	754,615	雑(売電)	749,227	
	計	21,805,000	計	22,262,172	計	946,355	計	876,557	
支出	人件費	9,755,000	人件費	9,968,596	指定管理料	20,000,000	指定管理料	20,000,000	
	設備管理費	1,540,000	設備管理費	1,654,982	委託料		委託料		
	備品購入費	0	備品購入費	632,565	需用費		需用費		
	修繕費	220,000	修繕費	207,680	役務費		役務費		
	光熱水費	4,000,000	光熱水費	5,063,318	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	2,615,000	事業費	2,413,845	修繕費	5,500	修繕費		
	事務経費	2,525,000	事務経費	1,968,203	工事請負費	192,813	工事請負費	43,671	
	本社経費	0	本社経費	0	備品購入費		備品購入費		
	その他	1,150,000	その他	1,011,700	その他		その他		
	計	21,805,000	計	22,920,889	計	20,198,313	計	20,043,671	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-658,717	差引	-19,251,958		-19,167,114	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								43.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☑	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由
	1 地域の諸団体(区長会・青少年育成連絡協議会等)、小中学校、法人等と講座企画・会議・催事等を通じて連携し、企画運営を行う。 2 公民館職員は、市内在住者を基本とし、可能な限り地元からの採用に努める。 3 本館と地域公民館とで地域情報を共有して連携を深める。 4 住民自治協議会と連携協力して、地域に根ざした活動を企画実践する。	4

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由

【利用者評価を4とした理由】  
 職員の対応や声かけについて利用者からの評価が良いこと。貸館事業に関して、利用者間の不満を解消し公平な利用となるよう、予約・利用状況の調整と利用希望者への丁寧な説明を行い対応していることを評価した。  
 【地域連携を4とした理由】  
 地元講師や人材を活用し、また、ギャラリーで地元の作家の作品展を行い地域へ関心を高め集客に繋げていること。小学校と連携し、公民館講座受講者が公民館で学んだことで小学校のクラブ活動に協力していることを評価した。

取組み・改善案等  
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等  
(施設所管課)

- ・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。
- ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。
- ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。

## 指定管理者自己評価

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

コロナ禍が3年間継続している中で、安心安全な予防対策を第一に掲げ、スタッフ・参加者全員で感染防止に努めてきた。本館、分館の貸館利用、本館の図書館利用のサービス向上に努めてきた。コロナ禍で年間利用者が35,438人で昨年度よりも若干減少したが本年度まではこの状況に甘んじた。245団体の利用登録は変わらない。様々なサークル団体や成人学校受講生が目的に合わせて受講しているので意見や願いを反映させたい。一方で集客の向上や広報のためにイベント紹介やギャラリー展示の宣伝にも活用していく。ギャラリー展示は地元の希望者に展示依頼をしてギャラリー内での展示作品展を開く。さらにはホームページの呼びかけも作成し啓発する。公民館スタッフの個性と感性を生かしアイデアと工夫をしていく。

## ② 業務の効率化に対する取組み

・デジタル化に伴い利用者等の数値入力等の効率化を図る。  
 ・コロナ禍の予防対策として職員の勤務形態をフレックス時間を取り入れるなど安心安全を配慮した勤務時間を構築する。職員一人一人のアイデアと工夫を尊重し運営に当たる。  
 ・指定管理者制度の町公民館としてフレイル予防や介護支援、町のリーダー育成講座など住自協(教育文化、社協)、包括支援センターとの連携を図り共同で取り組む方向を考える。

## ③ その他

・本年度は全国的に電気代が高騰したため冬期間の費用が高んだ。1月は床暖房を切って節電対応をした。ペレットストーブは故障が多く頻繁に修理点検した。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

指定管理者制度の公民館では住民自治協議会を管轄する「地域活動支援課」と町公民館を管轄する「家庭・地域学びの課」の求める方向について、課題となることは、公民館は「社会教育法」、「長野市公民館条例」の根拠法令を遵守しながら運営しているのが仕事の中で、この分野を住自協と共通理解が必要。指定管理者は川中島町住自協なので公民館スタッフも住自協の活動に今後も協力できるところは努力したい。

## (3) 総合評価

## 評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

## ① 評価理由

4人の町公民館スタッフの個性とアイデアを常に取り組み講座の運営や環境整備、管理運営などスムーズな運営ができた。

## ② 次年度以降の取組み

令和4年度同様にスタッフは同じメンバーであるがマンネリ化しないように常に新鮮で利用者の立場に立って利用できる町公民館を目指したい。また、地域との学びの中で近隣の小学生の地域探検の場所に町公民館が選択肢として上がっているので成人学校などの活動場を小学生に参観させ公民館活動の情報を発信していく。